昭和30年6月23日 第三種郵便物認可
磐城日日新聞
夕刊（除日曜）
第1351号

夕刊
磐城日日新聞
発行所 磐城日日新聞社
福島県磐城市湧迴51
電話387番
編集兼発行人 清村樫

海事功労者表彰式

海の記念日の今日 小名浜組講堂で

東北海運局小名浜支局管内第十五回海事功労者表彰式は海の記念日の今日午前十一時より小名浜漁業協同組合講堂に於て、関係者多数出席、盛大に挙行された。

東北海運局小名浜支局長香野晁氏、並に小名濱海上保安部長宮城克巳氏の式辭、次いで表彰状の授与、終つて磐城市立花市長初め来賓の祝辭、縣會議員小野義一氏等の祝電披露があり、受賞者代表藁谷寅之助氏の答辭があり表彰式を終つた。

なお表彰された人々は次の通りである。

▼東北海運局長賞
○海事功労 藁谷寅之助
〃 坂本 菊治
○造船関係永年勤續 鈴木 雄
〃 佐藤啓太郎
〃 新谷 政雄
〃 仙坂 直吉

▼東北海運局長賞、第二管區海上保安本部長賞
○人命救助 第二宝生丸船長 伊藤幸一外乗組員一同
○人命救助 遠藤佐一郎
〃 小松 享
〃 須田 利藏
〃 小野亀太郎

▼東北海運局小名浜支局長賞
○優良船員 五十嵐辰五郎
〃 花坂 一行
〃 叶谷 義一
○海上保安業に功績 小松 正
〃 第五日康丸
〃 大徳丸
〃 第七栄福丸
〃 第一吉祥丸
〃 第五定榮丸
〃 第二不動丸
〃 第三三好丸

○無事故船

式辭（大要）

東北海運局小名浜支局長 香野晁

明治天皇が明治九年東北御巡幸の折、函館から乗船七月二十日横浜に到着されたこの日を「海の記念日」と定められた。運輸省ではこの日を期し「海の國」たる認識と、海に生きる努力を更に新たにするため、その一助として海事関係者の顯彰を行うものである。日本海運の増強は日本經濟に於ける海運の重要性を単に海運関係者だけでなく、國民全体に認識させるためにも海の記念日の重要性がある。

今日栄譽を擔われた方々に深甚な感謝と敬意を表すと共に一層の自愛と奮斗を祈る次第である。

小名浜海上保安部長 宮城克巳

無事故船並びに人命救助合う今日、海の重要性が功労者に表彰状を授與す益々認識されて來つた事る機会を得たことを光栄とする。

敗戰によつて優秀な船團と船員を失つた我國は、官民一致不屈の努力によつて今や戰前に優る狀勢を呈するに至り、水産界亦漁船の保存量は戰前を上廻るようになり、北洋漁業、南洋捕鯨と優秀な成果を示して、世界水産界に万丈の氣焰を吐くに至つた。

然して四つの小さな島に八千万の同胞がひしめき今後海運関係水産者はこの重要性を単に海運関係者だけでなく、國民全体に認識させるためにも海の記念日の重要性がある。

今日栄譽を擔われた方々に深甚な感謝と敬意を表すと共に一層の自愛と奮斗を祈る次第である。

なお表彰された人々は次の通りである。

▼東北海運局長賞
○海事功労 藁谷寅之助
〃 坂本 菊治
○造船関係永年勤續 鈴木 雄
〃 佐藤啓太郎
〃 新谷 政雄
〃 仙坂 直吉

▼東北海運局長賞、第二管區海上保安本部長賞
○人命救助 第二宝生丸船長 伊藤幸一外乗組員一同
○人命救助 遠藤佐一郎
〃 小松 享
〃 須田 利藏
〃 小野亀太郎

終つて勿來市に向う。

採鮑組合役員決定

磐城市小名浜採鮑組合では十九日午前十時から總会を開催し役員を改選し規約一部改正の後、協議に移り今後縣とタイアップしてアワビ、ウニ、カキ等廣く養殖方面に力を注ぐことになつた。

果物 乾物 問屋
青木商店
駅前通り

の如し。

組合長 馬上勝壽
副組合長 志賀元作
相談役 小野甚造
會計 作山清
幹事 馬目寛
〃 瀬義一

運動用品のエキスパート

波のため二十三日に變更になつた。

天氣予報

（今晩）東よりの風くもりがちですが、時々晴時々にわか雨があるでしょう。

（明日）東よりの風くもりがちですが時々晴間があり、時々にわか雨があるでしょう。

（海上）こゝ二、三日は引續きうねりが高く風波も出ますから漁船は御注意下さい。

今年最高の暑さ

本日磐城市長の一日船長士用入りの今日、小名浜測候所調べによれば、氣に對する巡視船〃あさち溫は三〇度を越し、今年どり〃の公開は、台風余最高の暑さであつた。

市長の一日船長延期

☆開店☆
◇公認規格二面コートの使用出来る卓球場
◇一時間 大人、子供共二〇圓
◇ラケット、球はお借し致します
募集 店員（女子）一名 ゲーム取り（女子）一名
磐城市字竹町
瀧澤遊技場
電話一六一番

18日―22日
総天然色
シネマスコープ
20世紀フォクツス
折れた槍
監督 エドワード・ドミトリク
スペンサー・トレイシイ
ロバート・ワグナー
リチャード・ウイドマーク
廢きよの群盜
グレゴリイ・ペック
今日の映畫案内!!
金星座

福島県議会議員
文教衛生常任委員
会田亮
磐城市字上横町
電話148番

祝 港まつり

福島県議会議員
土木常任委員長
小野義一
磐城市字上明神町
電話6・456番

磐城市役所
市長 立花秀吉
助役 中田佑一郎
收入役 吉田善八

磐城市議会
議長 瀬彰義
副議長 江尻郷
議員 滝内進 杉山美佐雄 橋本雄吉 野崎貞行 吉田祐忠 鈴木吉次 吉田勝記 佐藤德太郎 竹田千里 新妻長藏 木田谷平 黒川亀雄 齋藤義定 鈴木巖 小野務平 及川正枝 遠藤勝馬 小林仁一郎 酒井源之助 比佐政種 佐藤貞吾 吉田利治 齋藤誠吾 秋山徹 箱崎滝三郎 高木武士 菅原勲 木村祐 江尻三睦郎 加沢喜三郎 藤社大一 酒井直惠 安藤力 小林重三

小名浜漁業協同組合
組合長理事 三代義勝
電話二番 三五番

小名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫
電話（磐城）（代表）六一五番

小名浜金融團

小名浜旅館組合
吉田屋 電話一四番
錦盛館 電話四番
鳴子 電話一二〇番
小滝 電話一〇三番
新米 電話六番
パト荘 電話三二〇番
むさし屋 電話一三九番
萬里荘 電話二七五番
玉屋 電話三九四番
福田屋 電話一七番
若葉館 電話三五〇番
啓浜館 電話一二九番
山大 電話二一一番
大み 電話三七番

小名浜醫師團
名杏会

磐城市辰巳町
大丸小名浜營業所
本館誠一
電三七一番

小名浜質屋組合
組合長 草野庄平
会計 佐川兵五

小名浜中央青果市場
社長 瀬誠明
電二八六

磐城協立青果市場
社長 菅原勲
電一八二

きうり天王 八坂神社祭禮

本日より海のカーニバルが連日くりひろげられて海は大いに賑う一方だが上、中、下明神町）後宿旧小名浜では今日は八坂町内氏子の神社であるこの神社の宵祭で御輿が出るの八坂神社の祭典は明二最後のお祭りでもあるし十一日午前十時より行わこの神社は一名胡瓜天王れる。

様と云われて居るだけに小名川神官の話による賽錢より時節のキウリが多いくらいにあがる。

此の奇祭の故事を後宿町内の老人に尋ねてみたら諸説紛々でこの傳説の由來が何が何やらよくわからない。此の神社の紋所が丁度キウリを輪切にした切口に似て居るからだとか、又何處の八坂神社でもキウリを上げるからだとか、祭神であるスサノヲノ尊が山野をバツ涉して居る頃。きうりばかり食つて居たのでお祭りに上げるのだとか、諸説誠にまち〳〵だ。

昔は天王様にきうりをあげないうちは自分達は食わなかつたもので、今でも内郷市の一の矢天王様の氏子達はこの慣習を守つている。

こんな珍奇な、然も今年最後の夏祭りが二十一日舊小名浜町内を若人の威勢のよい掛聲でねりあるくのだ。

海陸一連の祭典で、巷の今より二百二十年前、寶暦年間、名古屋の在津島神社（津島天王様）よりこのちに遷し、疫病（チブス、コレラ等夏の傳染病）より守る神様と稱せられている。

通常御輿は町の目抜通り人通の一層の人混みが予想されて居る旧小名浜（一本を渡御するがきうり天王神社の御輿は町の隅々まで渡御する事になつている。きうり天王の名は夏の初物を御供えする事より初まり、夏の代表的野菜であるきうりの名を取つたものとされている。

海難者追悼慰靈祭

海の祭典第一日の行事で各關係官廳及地元部落民ある海難者追悼慰靈祭並の協力で、磐城市内字御大漁祈願祭は午前九時より代坂三五ノ一番地に屠殺り小名浜、中の作、江名場（二三一坪）を設けるる各魚市場に於て盛大に挙行された。

右について昨十八日、磐小名浜祭場には市長、議城市役所會議室で、縣出長、各漁組代表者始め、先機関、地元民代表、申海上漁業関係者、遺家族請者等参集、意見の交換其の他多数の参列者があを行つたが、地元の一部つた。に反對意見もあつたので

祭壇は位牌を中央に澤山更に二十三日に協議會を再開の上、その諒解を得まり五色の旗が靜かに浜て縣は許可する模様であ風にゆれ、神官七名、僧る。侶七名で神佛兩式による仝屠殺場予定地は市内字追悼祈の念を捧げた。作部落の人家からは約四おごそかに海難者の靈を〇〇米も離れて居り、立慰め参列者一同も新なる地條件が整つているので感慨を呼びおこされた。この屠殺場の完成によつなお、御代サヨさんら数て將來市民の肉類の食生名のご詠歌奉仕は朗々と活の上に於て相當の潤いさい渡り、祭文は立花市を呈するであろう。長が代表し、参列者一同續いて燒香玉串奉奠をなし十時終了した。

卓球場開店

磐城市字竹町、瀧澤松儀（四七）さんではこの程少年達の娯樂機關の設備として自分の店、総坪數十六坪を床張りに改造、公認規格二面コートの使用出来る卓球場を完成し本日開店した。

小名浜に屠殺場

石城郡遠野町の伊藤清人氏は、かねてより磐城市内に屠殺場を設ける計画をたてゝいたが、この程〇人参五—一〇

奥茶市況

◉鮮魚
かつを二一〇—一五五
◉青果　中央市場
小子一一、五〇—一〇ね
ぎ五—九玉ねぎ四五—六

潮流

來客に對するエチケットは誰でも一応は心得ているものだが、個人の家庭と役所では、その應待振りが違うとはいうものの、客に對して不快の念を與えることは、時と場所とを問わず決してほめた事ではない。官尊民卑等と今更古めかしい言葉は遣いたくないがそれでも今なおその餘弊が残つていないとはいえない。

切れないのが遺憾だ。然も一番民衆的であるべき筈の福祉事務所、生活苦にあえぐ不幸な人々の相談相手であるここの吏員こそ、訪づれる客に最もねんごろに親切であるべきを……

磐城市福祉事務所はなんとなく官僚的だ、嫌やな氣分がするというのが定評のようである。

來客にお茶を出すにしても、先ず吏員に配つてから最後に客に出す仕末だ昔のお殿様の御膳番衆じやあるまいし、已れが先きにお毒見との殊勝な心掛けからでもなかろう。常に貧乏人を相手にして人を眼八分に見る癖が、そうさせるのかも知れない。これは客えのエチケットの道にはずれるばかりでなく、そんな心掛けでは職務上の影響が大きい。

ちと慎しんだらよかろう

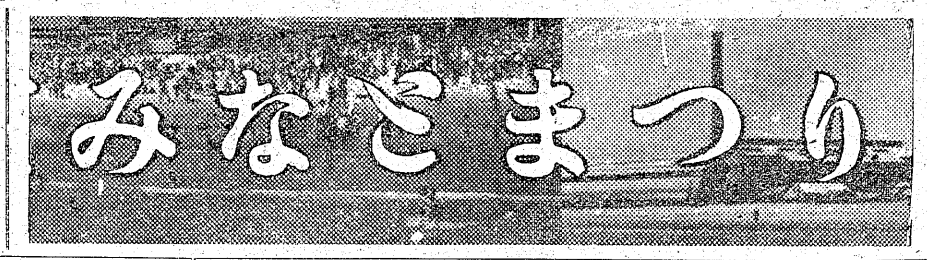
当社故專務取締役吉田荒次殿去る七月十三日故人の自宅において佛式をもつて社葬を營みましたが茲に生前の御交誼を謝し來る七月二十三日午前十時當社專務所に於て慰靈祭を執り行いますから謹んで御通知致します

昭和三十年七月二十日

小名浜海陸運送株式会社
取締役社長　矢吹總治
福島縣磐城市辰巳町

東映映画　監督　佐々木康
喧嘩奉行
咲いた血櫻お江戸の華！
極め付千惠藏のいれずみ判官!!
片岡千惠藏　高千穂ひずる
片岡栄二郎　月形龍之助
東映映画　監督　石原均
飛燕空手打ち　完結篇
波島進　月丘千秋　三本立
高木二郎
凸凹大演藝会
20日～23日
金美館

磐城市字下町34
山石製氷冷凍
合資會社
電話168・705番



磐城市内
郵便局長会

磐城市校長会
會長　小名浜第一中學校長　鈴木孝雄
副會長　泉小學校長　安島庫藏
小名濱第一小学校長　渡邊保
〃　第二小学校長　鈴木鵬
〃　第三小学校長　上遠野進午
鹿島小、中学校長　佐藤詢
江名小学校長　小針清吏
永崎小學校長　若松郁哉
渡邊小學校長　根本清秀
小名浜第二中学校長　佐藤瑞枝
江名中学校長　星春治
泉中學校長　渡邊武次
渡邊中學校長　大野正雄
小名浜高等學校長　大竹貞治
小名浜水産高等学校長　安達新

小名濱鉄工協同組合
理事長　鈴木丑松
專務理事　小野正雄
会計理事　村上治男
理事　大野春吉
〃　山口鹿之助
〃　長山廣之助
〃　金成良八
監事　会川六郎
〃　三好弥太郎

小名浜臨港鉄道株式會社
取締役社長　浦田文二郎
常務取締役　眞木弘
総務部長　小野信一
電話二三〇番

磐城市教育委員会
教育長　高木年
委員長　草野弘平
副委員長　門馬一
委員　佐藤信好
〃　峯松宏多
〃　佐藤貞吾

小名浜海水浴
脫衣場組合
たけや脫衣場　電話三〇六・一四五番
来々亭　電話五二四番
福島亭
天狗　電話二八四番
一松　電話六〇八番
三笠

小名浜みりん干加工業協同組合
組合長　理事　小野利一
理事　安川市郎
理事　鈴木英太郎
理事　小野武雄
理事　馬上喜七
監事　志賀栄治
監事　北川真三
監事　知

小名浜港工事事務所長
運輸技官　伊藤甫

磐城市字古湊二八
株式会社　酢屋商店
電話五五番

KK丸農青果市場
取締役社長　丹野貞
磐城市定西
電話三五八番

日本石油（カルテックス）
特約店
磐城市字柴町四二
閲彰商店小名浜支店
支店長　渡辺文彦
電話三六七・九七八番

磐城貨物自動車KK
小名浜第二営業所
磐城市字下町
電話391番

磐城市内六農協連絡協議会
会長　駒木根忠三
磐城市鹿島農業協同組合
組合長　荒川恒義